

令和5年度 青少年及び青少年育成功労者等表彰被表彰団体・被表彰者 一覧

《青少年育成島根県民会議表彰》

【青少年の部】

No	氏名	活動年数	在籍部署等	市町村名（推薦団体）	活動概要
1	あおき たいしん 青木 待心	—	学生 （島根大学）	松江市 （松江地区少年補導 委員連絡会、松江市 青少年育成連絡協 議会）	被推薦者は、松江地区少年補導委員連絡会の少年補導委員（警察ボランティア）及び島根大学松江地区BBS（更生保護ボランティア）の副会長として意欲的に非行防止・健全育成活動に取り組んでいる。 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」では、子ども食堂に他の学生ボランティアと出向き、バルーンアートで子どもたちと交流したり、手作りの教材を用いてインターネット利用時の注意点について伝え情報モラルの向上を図った。 また、更生保護施設の地域イベントでは、BBSとして子どもたちと地域住民との交流が深まる企画を運営するなど、所属する団体の活動に積極的に取り組んでいる。

* 青少年の部は、表彰規定に活動年数を規定していない

【青少年団体・グループの部】

No	団体名	活動年数	30歳未満構成員/全構成員	市町村名（推薦団体）	活動概要
1	みたにじんじやししまいほぞんかい 三谷神社獅子舞保存会 （子どもの部）	28年	23/28人	出雲市 （出雲警察署管内少 年補導委員連絡会、 出雲市青少年育成市 民会議）	島根県指定無形民俗文化財の三谷神社投げ獅子舞を継承する目的で結成され、地元の小学生が中心となって活動している。 例大祭では、子どもたちによる神輿や番内が獅子舞と共に町内を練り歩き、出雲地方古来から続く投げ獅子舞の継承団体として重要な役割を担っている。 また、令和3年から警察署とコラボした動画制作を機に「いずもセーフティ・キッズ」として、警察の防犯広報活動にも協力し、出雲市の安全安心なまちづくりの推進に大いに貢献している。
2	ひがしすもろさくじょう 斐川相撲道場	12年	15/21人	出雲市 （直江地区青少年育 成協議会、出雲市青 少年育成市民会議）	小学校2年生から中学生までの男子、女子が、県内で少ない屋内土俵で、毎週水曜日、大会前には週3回を目安に、県内で少ない屋内土俵で練習を行っている。 児童・生徒は、相撲の基本から応用技術及び相撲の礼儀、相手への思いやり、習熟度に応じた試合運びの方法等の練習を行い、県内の各種大会をはじめ、中国大会、全国大会へと出場を果たしている。 相撲道場OBがコーチとして、児童・生徒の指導にあたり「礼に始まり礼に終わる」といわれる礼儀についても継承、指導にあたっている。

【青少年指導者の部】

No	氏名	活動年数	過去の表彰歴	市町村名（推薦団体）	活動概要
1	まつざき 英治 松崎 英治	27年	松江市体育協会 優秀指導者 (H27. 1. 2) 中国地区スポーツ推進委員協 議会 功労賞 (R元. 6. 22) 松江市体育協会 功労賞 (R2. 1. 12) 島根県体育協会 功労賞 (R3. 3. 1)	松江市 （島根地域青少年健 全育成連絡協議会、 松江市青少年育成連 絡協議会）	平成20年度から島根町スポーツ少年団団長を務めるとともに、松江市スポーツ少年団本部の常任理事を務めるなど松江市のスポーツ少年団の育成事業に尽力している。 また、平成8年より小学生学童バレーボールチーム「しまねマリンWISH」の指導者として週4回、技術や競技力の向上とともに、団員の自主性や協調性などの人間性の資質の育成にも力を注いでいる。 指導するチームは、今までに4回全国大会に出場し平成25年3月にはベスト16の成績を残している。
2	おおの せつこ 大野 節子	12年	島根県少年補導委員連絡協 議会少年補導功労者表彰 (R2. 4. 1)	松江市 （松江地区少年補導 委員連絡会、松江市 青少年育成連絡協 議会）	平成23年から少年補導委員として、登下校時のあいさつ運動、他の少年補導委員や青少年育成団体と連携したパトロール活動、コンビニエンスストア等への20未満の者に対する酒類・タバコの販売防止依頼など様々な活動を行っている。 また、公安委員会委嘱の少年指導委員として、定期的に警察職員と風俗営業店の立入りをを行い、店舗責任者等に子どもたちの非行防止への協力依頼を行うなど熱意をもって子どもたちの非行防止・健全育成活動に取り組んでいる。
3	こまつばら 博子 小松原 博子	19年	島根県少年補導委員連絡協 議会少年補導功労者表彰 (H21. 3. 31) 島根県保護司会連合会会長 表彰 (R元. 11. 21) 松江保護観察所長表彰 (R2. 11. 19) 中国地方保護司連盟会長表 彰 (R5. 11. 7)	浜田市 （浜田市少年補導委 員連絡会）	平成16年から少年補導委員として長年にわたり少年の非行防止及び健全育成に尽力している。また、平成18年から公安委員会からの委嘱を受け少年指導委員として風俗営業店の立入りを警察職員と共同で行うなど地域の環境浄化活動を推進している。 また、青色防犯パトロール隊として7年間夜間パトロール活動に関わった後は、「二度と悲しい事件が起こらないように」と徒歩による防犯パトロールを行っている。 被推薦者は、現在、児童相談所の一時保護所で夜間等児童指導員を務めるなど、強い責任感と実行力をもって青少年の健全育成に幅広く取り組んでいる。
4	なかむら 修二 中村 修二	14年	島根県少年補導委員連絡協 議会少年補導功労者表彰 (H30. 4. 2)	益田市 （益田市少年補導委 員連絡会、益田市青 少年育成市民会議）	平成21年から少年補導委員として、子どもたちの登下校時間帯の見守り活動を継続している。地元の祭礼時には、他の警察ボランティアに呼びかけ街頭補導活動を行い子どもたちの非行や事件・事故の未然防止を図っている。 また、子どもたちの進級時にはフィルタリングの活用を呼びかけるチラシの配布を行い犯罪被害防止を図った。 一昨年には警察職員と共同して「20歳未満飲酒・喫煙防止啓発ポップ」を市内のスーパー等に提示する活動に参加するなど真摯に活動に取り組んでいる。
5	いとう みち子 井藤 美智子	21年	益田市青少年育成市民会議 表彰 (R4. 8. 5)	益田市 （益田市青少年育成 市民会議、益田市青 少年育成市民会議）	被推薦者は、退職と同時に、地元公民館を会場に「小学生教室」を自主開催している。活動は21年と長きにわたり、開催総数は420回を数える。 「小学生教室」は、主に「科学教室」と「クッキング教室」で小学校高学年から低学年まで幅広い年齢層を対象に毎回内容が工夫されて実施されている。 元小学校教員の経験を活かし、活動にあたっては安全面の配慮や子どもたちへの気配りがなされ、地域住民や子どもたちから厚い信頼を得ている。 「小学生教室」は、地元の健全育成活動の実践の場として貴重な存在となっている。
6	うめだ 信男 梅田 信男	22年	益田市青少年育成市民会議 表彰 (R4. 8. 5)	益田市 （益田市青少年育成 市民会議）	約20年前から、漁業者である被推薦者は、地元の保育園、小学校で、児童・生徒とわかめの種付けから刈取までをする養殖の体験学習に継続して取り組んでいる。 子どもたちは、学習を通して自然と触れ合い、地域の産業である漁業や環境保全への理解を深めている。 児童・生徒は、海を育む山との関係性を視座に、山林の植樹活動などを他地域の子どもたちと実施するなど、地域を超えた交流が始まっている。 被推薦者は、子どもたちの健全な育成を願い、本活動を中心となって支えている。

7	熊野 一裕 くまの かずひろ	19年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (H24. 3. 31)	大田市 (大田市少年補導委員連絡会、大田市青少年育成市民会議)	平成16年から少年補導委員として、青少年の健全育成のために様々な活動を展開している。地元の小学校において、情報モラルの向上を図るため警察署と共同した情報モラル教室を開催して小学生に家庭でのルール作りの大切さを呼びかけ併せてメッセージ付きチラシを配付した。コロナ禍には、対面による各種防犯教室を自粛して少年補導委員連絡会としてメンバーの写真及びメッセージチラシを保育園、小・中学校へ持参し関係者にエールを送った。 また、地元のパトロール隊の発足に尽力し、地元企業にも社用車による見守りを要請するなど地域を巻き込んだ見守り活動を展開している。
8	本田 司 ほんだ つかほ	12年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (H30. 4. 2)	安来市 (安来市少年補導委員連絡会、安来市青少年育成連絡会議)	少年補導委員及び地元小学校の見守り隊員として、毎日地元の小学校の通学路に立ち登下校の見守りを実施しているほか、毎月5日の地区のあいさつ運動にも積極的に参加している。地元の夏祭り等には、青少年の非行及び犯罪被害防止を図るため見回り活動を行っている。 また、地元小学校の防犯教室では、警察職員と共同して寸劇等を取り入れた分かりやすい誘拐被害防止教室を実施している。さらに、地元中学生と、JR安来駅の環境美化活動を通じ交流を深めている。
9	大村 肇 おおむら はじめ	16年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (H29. 3. 31)	江津市 (江津市少年補導委員連絡会、江津市青少年健全育成協議会)	平成19年から少年補導委員として長年にわたり青少年健全育成に尽力している。 被推薦者は、所属する江津市少年補導委員連絡会が主催する長縄跳びや登山などの青少年健全育成事業の企画委員として率先して運営にあたっている。 また、学校の長期休暇には、他の少年補導委員と合同で公園や海水浴場のパトロール活動やコンビニエンスストア等に、万引き防止啓発チラシを手交して少年の万引き防止への協力要請を行うなど少年の非行防止に尽力している。
10	亀山 佳代子 かめやま みよこ	19年	島根県少年補導委員連絡協議会少年補導功労者表彰 (H28. 3. 31)	雲南市 (雲南警察署管内少年補導委員連絡会、雲南市青少年健全育成協議会)	被推薦者は、地域に根差した視点を大切にしながら、地域安全マップづくりの企画・運営、夏祭り時等の街頭補導活動、JR木次線駅舎の高校生との清掃活動を継続して実施している。 また、令和5年度に、所属する連絡会の女性部代表に就任すると、児童虐待防止啓発グッズ(メッセージカード)を部会員と作成した。保護者を応援する気持ち等が綴られたグッズに贈呈先から「子どもたちを大切にしようという気持ちを育むことができる」との反響が寄せられるなど、地域の健全育成に多大な成果を効果をあげている。

【その他の部】

No	氏名・団体名	活動年数	過去の表彰歴	市町村名(推薦団体)	活動概要
1	羽根盆踊り 子ども盆踊り教室 はねぼろどり こどもぼろどり	17年		出雲市 (庄原コミュニティセンター、出雲市青少年育成市民会議)	平成18年から「羽根盆踊り愛好会」のメンバーが中心となって、子ども対象の講習会を開催、平成20年度文化庁「文化伝承子ども教室」事業を機に、地域の文化伝承と郷土愛を育む心及び健全育成を目的に、小学校などに広く募集して教室を開始した。 教室は、年間15回程度開催され、延べ1,000人近い地域の子どもたちが参加している。 地元小学校4年生の社会学習「残したいもの 伝えたいもの」では、「羽根盆踊り愛好会」のメンバーがゲストティーチャーとして学習に協力し学校と連携を図りながら、伝統文化継承及び健全育成活動を推進している。
2	社日ペットボトルロケット研究会 (S. P. K)	11年		安来市 (社日交流センター、安来市青少年育成連絡会議)	平成22年、社日交流センターのボランティア団体「お助け隊」が安来市子ども探検隊の企画であった「ペットボトルロケット打ち上げ大会」に参画したことを契機に平成24年8月社日ペットボトルロケット研究会(S. P. K)として発足した。 S. P. Kの指導により、今までに松江大会上位者として今までに4名の児童が、筑波宇宙センターの招待を受けている。 ペットボトルロケットの製作と打ち上げを通じて、子どもたちの理科に対する興味や関心を引き出すとともに、子どもたち一人一人に寄り添う活動スタイルに学校関係者、保護者からの信頼も厚く青少年の健全育成に寄与している。